

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 フィールズ株式会社

コード番号 2767 URL <http://www.fields.biz/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 高志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 畑中 英昭

TEL 03-5784-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	21,145	19.9	283	—	574	—	342	—
24年3月期第1四半期	17,635	△17.4	△225	—	△266	—	△284	—

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 144百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △309百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1,030.74	—
24年3月期第1四半期	△856.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	67,539	50,868	74.7
24年3月期	93,601	51,555	54.6

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 50,418百万円 24年3月期 51,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2,500.00	—	2,500.00	5,000.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	2,500.00	—	2,500.00	5,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	24.7	14,000	64.2	14,500	67.4	7,300	21.8	21,998.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	347,000 株	24年3月期	34,700 株
----------	-----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	15,162 株	24年3月期	15,162 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	331,838 株	24年3月期1Q	332,115 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は平成24年8月3日(金)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

[当第1四半期連結累計期間（4月－6月）の概況]

売上高は21,145百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益283百万円（前年同期は営業損失225百万円）、経常利益574百万円（同経常損失266百万円）、四半期純利益342百万円（同四半期純損失284百万円）となりました。

主因は下記の通りです。

当第1四半期は、パチンコ・パチスロ遊技機販売において、パチンコ・パチスロ各1機種の販売に加え、前年度第4四半期に販売を開始した『パチスロ モンスターハンター』の売上の一部が当第1四半期に計上され、概ね当初計画通りの実績となりました。

当社グループは、平成24年5月に発表した「成長するビジネスモデル」（コミックス、アニメーション、映画/テレビ、マーチャンダイジングにおけるシームレスな循環型ビジネス展開）に基づき、IP（知的財産）の価値最大化に主軸をおいた事業活動を推進しています。

中長期的なキャラクタービジネスの確立を目指し、当期は、キャラクターをはじめとしたIPを継続的に取得・創出・育成していくための仕組みづくりに注力しています。

例えば、新たなIPの創出に向けては、(株)小学館クリエイティブと共同で創刊したコミック誌『月刊ヒーローズ』の企画開発や新規プロジェクトを推進しています。また、『ベルセルク』シリーズをはじめとしたアニメーションプロジェクトでは、新たな映像開発や映像以外の多メディア展開に向けた施策を進めています。

成長するソーシャル・メディアに対する取り組みでは、さまざまなプラットフォームへコンテンツを展開しており、すでに収益に寄与し始めています。あわせて、同分野で適応性の高いコンテンツの研究開発も進めています。コンシューマプロダクトへの取り組みでは、現在、コンテンツショップを運営していますが、ここでは新たなIPの取得・育成に寄与するコンテンツショップや差別化された商品の企画開発に取り組んでいます。

パチンコ・パチスロでは、当第1四半期の市場を取り巻く環境は、震災の影響を受けた前年同期に対し、新台供給が大きく回復しました。とくに、パチスロ遊技機は一昨年から引き続き拡大基調にあり、市場全体を牽引しています。当第1四半期の当社のパチンコ遊技機販売は、平成24年1月発売の『CRエヴァンゲリオン7』のライトバージョン『EVAライトⅢ』を販売しました。パチスロ遊技機販売では、『GT0～Limit Break～』の販売に加え、前年度第4四半期に販売を開始した『パチスロ モンスターハンター』の当期計上がありました。この結果、当第1四半期のパチンコ遊技機販売20,928台（前年同期13,821台増）、パチスロ遊技機販売43,862台（前年同期7,612台増）となりました。

<パチンコ・パチスロにおける当第1四半期の販売タイトル一覧>

パチンコ遊技機販売タイトル	発売月	
EVAライトⅢ	平成24年 5月	(株)ビスティ製)
パチンコ遊技機 総計上台数合計	20,928 台	

パチスロ遊技機販売タイトル	発売月	
[前期継続販売] パチスロ モンスターハンター	平成24年 3月	(株)ロデオ製)
GT0～Limit Break～	平成24年 6月	(株)ビスティ製)
パチスロ遊技機 総計上台数合計	43,862 台	

(注) 計上台数には、上記タイトル以外の代行販売による販売台数を含んでいます。

(注1) 本短信に記載の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

(注2) セグメントの変更については、10頁「(5) セグメント情報等」をご参照下さい。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、35,900百万円と前連結会計年度末比26,911百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、10,947百万円と前連結会計年度末比32百万円の減少となりました。

無形固定資産は、4,245百万円と前連結会計年度末比126百万円の減少となりました。

投資その他の資産は、16,446百万円と前連結会計年度末比1,008百万円の増加となりました。これは主に敷金保証金の増加によるものです。

以上の結果、資産の部は67,539百万円と前連結会計年度末比26,062百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、12,628百万円と前連結会計年度末比25,296百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少によるものです。

固定負債は、4,042百万円と前連結会計年度末比78百万円の減少となりました。これは主に社債の償還によるものです。

以上の結果、負債の部は16,671百万円と前連結会計年度末比25,375百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産の部は、50,868百万円と前連結会計年度末比686百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ10,224百万円減少し、8,060百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、7,719百万円（前年同期は8,173百万円の収入）となりました。これは主に仕入債務の減少24,012百万円、売上債権の減少17,908百万円、商品化権前渡金の増加1,249百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,438百万円（前年同期は931百万円の支出）となりました。これは主に貸付による支出395百万円、有形固定資産の取得による支出371百万円、無形固定資産の取得による支出352百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,065百万円（前年同期は1,080百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払773百万円、社債の償還による支出300百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

	平成25年3月期 見通し	平成24年3月期 実績	前年同期比
売上高	115,000百万円	92,195百万円	24.7%減
営業利益	14,000百万円	8,527百万円	64.2%増
経常利益	14,500百万円	8,661百万円	67.4%増
当期純利益	7,300百万円	5,991百万円	21.8%増

通期連結業績予想は、平成24年5月9日発表の「平成24年3月期 決算短信」の通り、公表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,344	8,014
受取手形及び売掛金	34,402	16,304
有価証券	—	61
商品及び製品	386	493
仕掛品	2,493	3,174
原材料及び貯蔵品	255	33
その他	7,030	7,869
貸倒引当金	△101	△50
流動資産合計	62,811	35,900
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,642	6,640
その他	4,337	4,306
有形固定資産合計	10,980	10,947
無形固定資産		
のれん	2,498	2,417
その他	1,874	1,827
無形固定資産合計	4,372	4,245
投資その他の資産		
投資有価証券	10,241	10,139
その他	5,728	6,840
貸倒引当金	△531	△533
投資その他の資産合計	15,437	16,446
固定資産合計	30,790	31,639
資産合計	93,601	67,539
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,100	4,480
1年内償還予定の社債	618	618
短期借入金	450	477
1年内返済予定の長期借入金	153	180
未払法人税等	184	11
賞与引当金	315	78
役員賞与引当金	240	60
返品調整引当金	10	8
その他	6,852	6,714
流動負債合計	37,925	12,628
固定負債		
社債	300	—
長期借入金	139	99
退職給付引当金	455	475
その他	3,226	3,467
固定負債合計	4,121	4,042
負債合計	42,046	16,671

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,994	7,994
利益剰余金	37,774	37,286
自己株式	△1,821	△1,821
株主資本合計	51,895	51,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△824	△988
為替換算調整勘定	△0	△1
その他の包括利益累計額合計	△824	△989
少数株主持分	483	449
純資産合計	51,555	50,868
負債純資産合計	93,601	67,539

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
売上高	17,635	21,145
売上原価	12,558	15,578
売上総利益	5,076	5,566
販売費及び一般管理費	5,302	5,282
営業利益又は営業損失（△）	△225	283
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	85	85
仕入割引	0	132
持分法による投資利益	—	151
その他	60	76
営業外収益合計	147	448
営業外費用		
支払利息	3	4
持分法による投資損失	42	—
投資有価証券運用損	12	8
出資金償却	38	128
災害支援費用	82	—
その他	10	15
営業外費用合計	189	157
経常利益又は経常損失（△）	△266	574
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	9	23
減損損失	22	—
事務所移転損失引当金繰入額	41	—
その他	13	11
特別損失合計	87	35
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△353	539
法人税等	△68	229
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△285	310
少数株主損失（△）	△0	△31
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△284	342

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（△）	△285	310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△164
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益合計	△23	△165
四半期包括利益	△309	144
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△308	176
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△31

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△353	539
減価償却費	428	528
減損損失	22	—
のれん償却額	78	80
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△68	△49
賞与引当金の増減額（△は減少）	△267	△236
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△160	△180
退職給付引当金の増減額（△は減少）	18	20
事務所移転損失引当金の増減額（△は減少）	41	—
受取利息及び受取配当金	△86	△86
持分法による投資損益（△は益）	42	△151
支払利息	3	4
売上債権の増減額（△は増加）	16,744	17,908
たな卸資産の増減額（△は増加）	△639	△566
商品化権前渡金の増減額（△は増加）	409	△1,249
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,257	△24,012
その他	259	△161
小計	12,214	△7,613
利息及び配当金の受取額	122	109
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△4,156	△209
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,173	△7,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△136	△371
有形固定資産の売却による収入	2	1
無形固定資産の取得による支出	△213	△352
投資有価証券の取得による支出	△400	—
出資金の払込による支出	△3	—
貸付けによる支出	△1	△395
関係会社株式の取得による支出	—	△10
その他	△179	△310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△931	△1,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	26
長期借入金の返済による支出	△18	△14
社債の償還による支出	△300	△300
配当金の支払額	△755	△773
その他	△5	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,080	△1,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,159	△10,224
現金及び現金同等物の期首残高	15,632	18,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,791	8,060

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

「II 当第1四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載の通りです。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、当社グループのセグメントは、「P S・フィールド」「モバイル・フィールド」「スポーツエンタテインメント・フィールド」「その他・フィールド」をセグメント情報として開示していましたが、当期から4つのセグメント別区分を発展的に統合し、IP(知的財産)を基軸とする単一セグメントに変更いたします。

当社グループは、中長期的な成長・発展を遂げるために、上場時以来のパチンコ・パチスロ分野に主軸をおいたビジネスモデルから、IPに主軸をおいたビジネスモデルへの戦略転換を企図し、「成長するビジネスモデル」として戦略の整理・構築を進め、さらなる成長と発展を期しています。

当社グループは、「成長するビジネスモデル」に基づき、IPの価値最大化に主軸をおいた事業活動を推進しています。「成長するビジネスモデル」は、4つの枠組み(コミックス、アニメーション、映画/テレビ、マーチャンダイジング)を基本とし、それらの相互作用による循環型ビジネス展開を通じて、IPの価値最大化を目指します。本戦略の推進により、IPを基軸とした経営戦略の立案、経営資源の配分の決定及び業績評価を行うことから、グループ全体を単一の事業としています。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメントの記載を省略しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。